IT企業の戦略

ライイデリ

浦崎　社長

ライデリ（沖縄県西原町字幸地580−3−B1、浦崎真作社長）は、「ひとーネットビジネス支援事業ページ（HP）制作・運用を中心に、総合的なインタり雇うより、ライデリ」を掲げ、ホーム

アイフォーン事業立ち上げ

を展開する。

HP制作実績は県内外で1千社を超えており、浦崎社長は「ホームページ制作専門企業として実績は県内ナンバーワン」と語る。誰でも簡単にHPを運用・管理できるASPサービス「Tools（ツールス）」は好評で、利用社数は470社にまで拡大。ツールス利用者の8割は県内だが、福岡などにもユーザーがいる。同社は、福岡営業所（福岡市中央区）を持つが、現在は誰も常駐していない。しかし、2月からは事務所を同博多区に移転し、福岡地区での事業立て直しを図る。

まずは、既存顧客へのフォローを徹底させ、2010年4月からは新規顧客開拓に着手する方針。浦崎社長は「5年以内には九州各県に拠点をつくりたい」と語り、九州地区での事業拡大を方向付ける。

09年は、アップル社製情報端末アイフォーン向けビジネスを新たに立ち上げる。

インターネット白書も4月発行

企業の財務情報などを端末で見られるアプリの開発を検討しており、4月にはリリース予定という。

浦崎社長は「現在パソコンでできていることを、すべて携帯電話でも実現できるようにしたい。パソコンに向かっている時間は限られるが、携帯電話はいつでもどこからでもアクセスできる」と、注力理由を語る。

設立10周年記念事業として、沖縄国際大学と協力して初めて発行した「沖縄インターネット白書2008」の、09年版も4月に発行する。今回は、県内広告代理店大手の宣伝（沖縄県浦添市）も加わり、内容拡充を図った。

産学連携の効果もあり、今春は同社として初めて新卒者2人を採用する。同社は08年4月に人事部門を設けており、今後も積極的に社員を採用していく方針だ。